

## 地域と共につくる、笑顔の素敵な生徒

### 福井市川西中学校

#### 1 取り組みの概要

##### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	33回

##### (2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	67人
授業ボランティア（含：低ボラ）	29人
登下校支援ボランティア	195人
その他（ ）	
	人

##### (3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

##### 具体的活動内容

###### ○あいさつ運動

中学校区の教員が毎月15日を中心に、登校指導とあいさつ運動を行った。自校だけでなく他校の児童生徒の指導も行っている。また、11月には、川西中の1年生も出身小学校に出向き、あいさつ運動に加わった。

###### ○地域一体型を目指した学校祭

中学生サミットに参加した生徒会執行部が他校との情報交換により、文化祭で、地域の方によるフラダンス教室・茶道教室・アレンジフラワー教室を企画した。講師は、いずれも公民館で講座を開いていらっしゃる方で、地域の方との交流の場を持つことができた。また、体育館では、本郷地区でスコープ三味線をされているグループを招き、熱のこもった楽しい演奏を聴くことができ、地域のよさを体感することができた。

###### ○親子研修会

災害時における正しい判断、避難の仕方を親子で学び、今後の生活に生かそうとする態度を育てるために、「まちの防災研究会」代表の松森和人氏を講師に招き、ワークショップ型の講演会を開いた。実際に災害にあったときに、自分たちはどうしたらいいのか、どんな役割をになうことができるのか、参加者同士で考え話し合う場を持つことができた。



【親子研修会の様子】

##### 成果と課題

- ・あいさつ運動では、3校の教員が他校の児童生徒の指導も行い、中学校区全体の子どもを育てようとする教員の意識を高めるできた。今年度より、中学1年生もあいさつ運動に加わり、より充実した活動になった。今後も安全面に注意しながら継続していきたい。
- ・文化祭では、公民館の方を講師に招き、様々な体験コーナーを通して地域の方と交流することができた。次年度も、生徒会が中心になっての積極的な取り組みを企画していきたい。
- ・親子研修会では、東日本大震災を受けて、タイムリーで意義のある研修だった。クイズ形式を取り入れた進行により、話し合い活動も活発に行うことができた。

